

各位

日本保険薬局協会が普及を推進する電子お薬手帳「お薬情報玉手箱®」とポケットファーマシー販売会社の「ポケットファーマシー®」の調剤情報等をシステム間で連携して、一つの電子版お薬手帳で過去の服用歴を一覧できるようにする実証実験を開始することとなりました（詳細別紙参照）。

本年中に、両電子お薬手帳のシステムの改修を行い、来年から栃木県内の両電子お薬手帳導入薬局で電子お薬手帳を利用される患者、家族等の皆様に説明を行うとともに運用を開始いたします。

この試みは、前年度厚生労働省保険局において行われた「薬剤服用歴管理指導において具備すべき電子お薬手帳の要件策定に関する研究」報告、今年度同省医薬・生活衛生局において実施されている「電子お薬手帳の適切な推進に向けた調査検討事業」の議論、さらには10月23日に公表された「患者のための薬局ビジョン」28ページの「今後は、紙のお薬手帳を一冊化・集約化する取組に合わせて、一つの電子版お薬手帳で過去の服用歴を一覧できる仕組みを構築する…」という規定を実現する一つのものとして位置づけられます。

実証実験後は、同様の電子お薬手帳を開発されている企業、導入されている薬局の皆様のご協力を得て、栃木県を超えて各地域において広くこうした試みが普及されるよう努め、「患者のための薬局ビジョン」実現に少しでも貢献したいと考えております。

平成27年10月26日

(一社) 日本保険薬局協会
(連絡担当松尾)

2015年10月26日

「お薬情報玉手箱®」と「ポケットファーマシー®」が 電子版お薬手帳で服用歴を一覧できる実証実験を開始

ニッセイ情報テクノロジー株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：小林 研一）と、ポケットファーマシー販売株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：島崎 肇）は、電子版お薬手帳の「お薬情報玉手箱®」と「ポケットファーマシー®」を連携する為の実証実験を栃木県内で開始する。

今後、日本保険薬局協会、栃木県薬剤師会の協力を得て、薬局への説明会や患者の声を集めた効果測定を行い、2016年3月までに全国の1000薬局以上において利用可能になるようにし、電子版お薬手帳のさらなる普及を目指す。

栃木県では全体の約4分の1にあたる200薬局が既に電子版お薬手帳の「お薬情報玉手箱®」または「ポケットファーマシー®」を導入しており、今回2つの電子版お薬手帳の情報を双方向にデータ連携できるようにすることで、患者の電子お薬手帳を一つにまとめることができ、薬局はお薬の飲み合わせチェックや重複投与のチェックが行いやすくなる。これまで紙のお薬手帳でも複数の手帳を持っている患者が多く、電子版お薬手帳なら簡単に一覧できるようにまとめることができると期待されていた。

また、今回の利用するデータフォーマットは一般社団法人保険医療福祉情報システム工業会（JAHIS）が標準化した電子版お薬手帳データフォーマットを採用し、そのデータの受け渡し方法などの技術情報は外部に広く公開する予定。

現在、電子版お薬手帳は多数のアプリが公開されているが、服薬情報一元化の観点からも調剤、服薬データの互換性、一覧参照が課題となっていた。

<関連リンク>

ニッセイ情報テクノロジー株式会社 <http://www.nissay-it.co.jp/>

ポケットファーマシー販売株式会社 <http://pocketpharmacy.co.jp/>

<お問い合わせ>

ニッセイ情報テクノロジー株式会社 担当：梁川 英一

Tel：03-5703-7110

e-mail：pehr-i@nissay-it.co.jp

ポケットファーマシー販売株式会社 担当：藤井 稜平

Tel：03-6667-0462

e-mail：info@pocketpharmacy.co.jp